

会告 I

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内 (第 2 報)

「輸血と細胞治療～信の醸成と智の具現～」のテーマのもとに、第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会を開催するにあたり、更なる輸血・細胞治療学の発展を願い、御挨拶を申し上げます。

第 59 回本学会総会は、3.11 東日本大震災のため、開催中止を余儀なくされました。そのため、半田第 59 回総会長が周到に準備した各種シンポジウムなどの企画を引き継ぎ、いわば第 59 回+第 60 回として、第 60 回総会を開催したいと考えています。会員の皆様方には発表出来なかった演題も進化させ、再度応募して下さいすることも歓迎します。

日本で、輸血医学研究が学会活動としてまとまった形態をとるようになって 60 年という長い年月を積み重ねてきました。近代輸血医学は感染症との闘いの歴史であり、先達の英知によって、数多くの重症輸血感染症を克服して参りました。また他方、同種免疫との葛藤は、血液型の解明、取り違え防止の進化、白血球除去や放射線照射などで大きな進歩を遂げてきました。細胞治療の進歩は多くの患者に福音をもたらしています。しかし、日本は超高齢社会という未曾有の将来に向かって、血液の安定的供給に黄色信号が点滅し、輸血医療全体が揺るぎかねなくなってきました。

輸血医学は健康な献血者に支えられ、幾多の医学分野の成果が生かされ、最終的に多くの医療職種によって完成する、まさに総合医学です。認定輸血検査技師に加えて、学会認定・自己血看護師、アフエーシスナース、輸血看護師の学会認定も始まり、安全で信頼できる輸血医療へまた一步近づいています。

輸血医療と細胞治療分野において国民が信頼し合える環境を醸成し、未知への挑戦はわれわれ日本輸血・細胞治療学会の使命であります。3.11 震災の被災地、福島県で復興を祈念しつつ、大いに語り合い、輸血・細胞治療と皆さまの発展に役立てていただけることを心から願っています。

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会
総会長 大戸 齊
(福島県立医科大学 輸血・移植免疫学 教授)

記

会 期：2012 年 (平成 24 年) 5 月 25 日 (金) ～27 日 (日)

会 場：ホテルハマツ郡山
〒963-8578 福島県郡山市虎丸町 3 番 18 号
TEL：024-935-1111 (代)
<http://www.hotel-hamatsu.co.jp>

演題募集期間：2011 年 (平成 23 年) 10 月 4 日 (火) ～12 月 1 日 (木)

第 60 回総会本部および運営事務局 (展示申込等全般)：

福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座
〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
TEL：024-547-1539 FAX：024-549-3126
E-mail：yuketu60@fmu.ac.jp

第 60 回総会演題登録事務局（演題登録）：

株式会社 サンプラネット内

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 7 階

TEL：03-5940-2610 FAX：03-3942-6396

E-mail：60annual@sunpla-mcv.com

学会本部事務局（学会入会申込等）：

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 5 階

TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612

E-mail：60annual@jstmct.or.jp

総会ホームページ：<http://www.fmu.ac.jp/home/yuketsu/jstmct60/index.html>